



さん し れ い き
三 泗 鈴 亀

- ▶ 平成23年産水稲・麦の被害状況
- ▶ 平成22年度決算・事業報告
- ▶ 園芸施設共済への加入をお勧めします。

第24号

平成24年1月発行



御在所ロープウェイ (三重郡菟野町)

発行

三泗鈴亀農業共済事務組合

〒512-1211 西日市市榎町3690番地4 TEL (059) 329-8780-FAX (059) 329-8783

E-mail info.san@nosai24.com

URL <http://www.nosai-sanshreiki.or.jp/>

平成23年度

水稲・麦の

被害状況

穂ずれの被害が発生

水稲の生育は、7月中旬頃までは順調に推移しましたが、台風6号の影響による暴風により、出穂期と重なった地域で穂ずれが発生しました。

台風通過後は、気温が低い日がしばらく続いたため、いもち病の発生が目立つ圃場が見られました。さらに、台風12号の影響により刈り取りが済んでいなかった一部地域で風水害が発生しました。

また、中山間部では、獣害(猪、狼、鹿)が発生しました。

平成22年産に比べ、被害面積は約6割増加し、共済金の支払いについても、約4割増加し、約千二百万円の支払いとなりました。

品質低下で異常被害

麦については、8月下旬から4月にかけて低温であったため、生育が遅れ、一部地域で生育不良が見受けられました。

また、台風2号や梅雨の降雨の影響で、収穫時期が遅れ、倒伏や穂発芽により品質が低下しました。一方、山間部の一部の圃場では、鳥獣害の被害も発生しました。

品質が悪い麦が多く、災害収入方式では、22年産に続き、異常災害となり、総額で約五千四百万円の支払いとなりました。



穂ずれによる被害(水稲)

共済金の支払状況

		年産	被害筆数(筆)	被害面積(ha)	支払共済金(円)
水稲	一筆方式	平成23年産	628	93.80	11,982,800
	災害収入方式	平成22年産	384	56.19	8,819,679
麦	一筆方式	平成23年産	635	50.84	4,068,216
		平成22年産	776	128.63	8,430,456
	災害収入方式	平成23年産		954.73	50,221,153
		平成22年産		775.97	50,198,469



水稲共済掛金率を改定

平成24年度から26年度の3年間に適用する水稲共済の危険段階掛金率を改定します。大地区別に過去5年間の被害率を基に5段階に設定する予定です。

平成23年産水稲適用掛金率等(一筆7割補償)

危険段階区分	掛金率(%)	農家負担掛金(円)10アール当り	20年度との比較(円)
1	1.307	637	▲82円
2	1.073	559	▲77円
3	0.999	534	▲87円
4	0.950	518	▲74円
5	0.934	512	▲58円
組合平均	0.988	530	▲59円

・水稲の農家負担掛金は、基準単収を478kg(23年産平均)として算出しています。10アール当たり200円の賦課金を含みます。

水稲共済掛金の算出方法例

(23年産組合平均の10アール当り)

農家負担掛金(円) = 基準收穫量(kg) × 補償割合(%) × 単位当り共済金(円) × 掛金率(%) × 1/2 (国が掛金の半分を負担) + 賦課金(円)

= 478kg × 70% × 200円 × 0.988% × 1/2 + 200円 = 530円

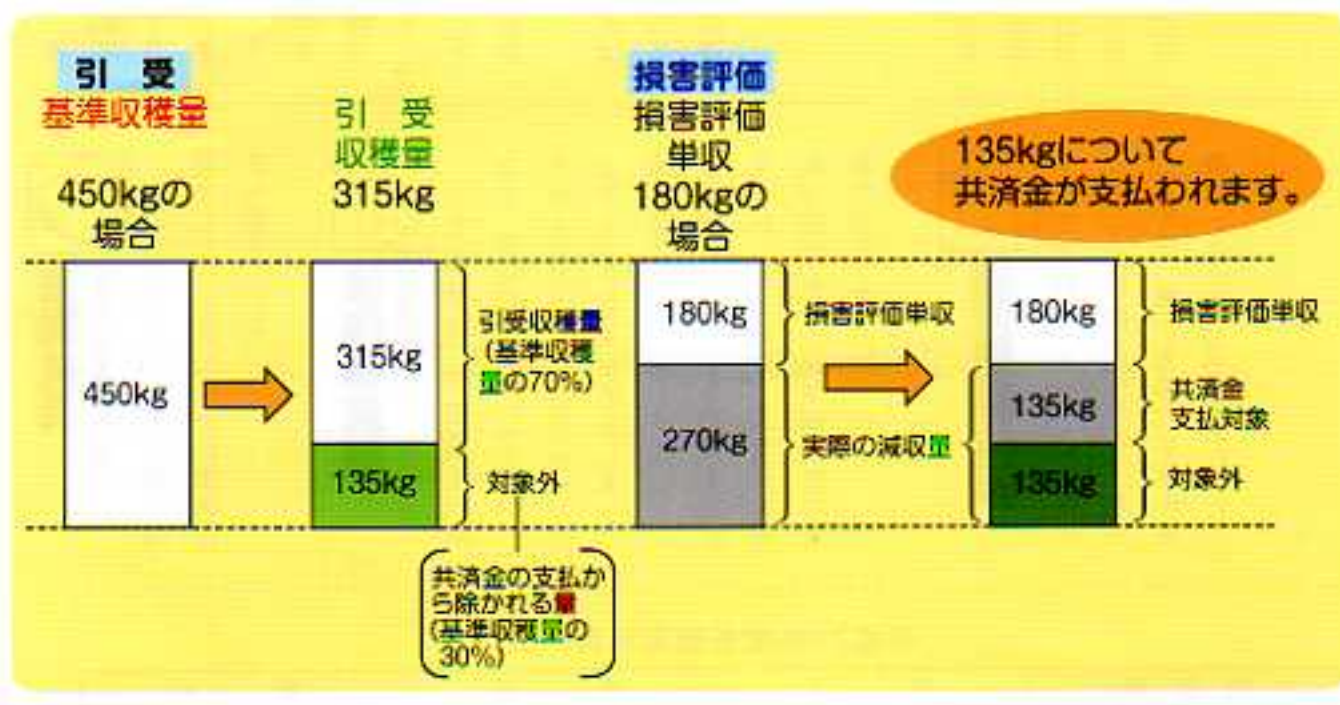
水稲共済の補償額は？

10アール(1反) 当たり基準収穫量を450kgとした場合

- 450kgの70%を引受対象とします。 $450 \times 0.7 = 315\text{kg}$ 、つまり10a当たり315kg以下の損害評価単収であった場合、共済金の支払対象となります。(下図左側 **引受** 参照)

10アール当たり損害評価単収が、180kg(3俵)であった場合

- 引受分315kgから損害評価単収180kgを差し引いた135kgについて共済金が支払われます。
1kg当たりの補償額が200円(平成23年度単価)であるので
 $200\text{円} \times 135\text{kg} = 27,000\text{円}$ 、
10アール当たり、27,000円をお支払します。(下図右側 **損害評価** 参照)



平成24年度は3年に一度の損害評価会の役員及び損害評価員の改選の時期になります。被害の調査等でお世話になる方々ですが、選任にあたっては皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

役員改選のお知らせ



農業共済新聞を読んでみませんか？
地域の身近な情報、農業の話題満載
(毎週水曜日発行)

年間購読料 **4,680円**

- お申し込み・お問い合わせは
三河鈴鹿農業共済事務組合まで
TEL (059)329-8780



平成22年度 決算・事業報告

組合議会定例会で
認定されました。

三河鈴鹿農業共済事務組合の平成22年度決算が10月25日開催の組合議会定例会で認定されました。

各共済の概況は次のとおりです。



農作物共済

水稲は、引受面積が55万2,071aと前年より2万7,479a増加しました。

被害は、4、5月の低温や6月上中旬の日照不足による生育不良、一部で葉いもち病の発生もありました。

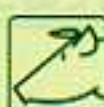
9月以降の「みえのゆめ」で虫害等の被害が発生しました。

麦共済の23年度引受は、一筆

方式と災害収入方式の合計16万1,040aで前年より1万6,103a引受面積が増加しました。

被害は、播種時期に降雨が多く、播種作業が遅れ、冬季の降雨、春季の低温、長雨及び日照不足の影響で生育不良がみられました。山間部の一部の圃場では、鳥獣害の被害もありました。

全体として平成22年度小麦は、収量・品質が低下し、平成12年の組合発足以来、最高額の共済金支払となりました。



家畜共済

乳牛の雌等の引受の減少に伴ない、全体で6,895頭と前年に比べて127頭の引受減となりました。共済事故についても、死亡座用事故、病傷事故ともに前年より減少しました。



果樹共済 (りんご・りんごみかん)

引受面積は、70aで前年と同様でした。平成22年度の被害はありませんでした。



畑作物共済 (大豆)

引受面積は、半相殺・一筆方式、全相殺方式あわせて、84戸、6万9,938aと前年に比べて2万3,962a増加しました。

被害は、8月上旬の豪雨などから土壌湿潤害による発芽不能が見受けられ、また、生育期の高温少雨により干害や害虫害の被害が発生しました。



園芸施設共済

引受棟数は、462棟と前年に比べて41棟減少しました。被害としては、風水害等で本体や被覆物・内作物の損害がありました。

平成22年度各勘定決算状況

勘定名	収入	支出	差引
農作物共済勘定	120,079,701円	111,910,309円	8,169,392円
家畜共済勘定	134,820,819円	133,121,772円	1,699,047円
果樹共済勘定	15,887円	11,970円	3,917円
畑作物共済勘定	30,020,359円	29,938,120円	82,239円
園芸施設共済勘定	6,238,499円	5,297,681円	940,818円
業務勘定	225,421,557円	225,421,557円	0円
合計	516,596,822円	505,701,409円	10,895,413円

※結果として、全体で10,895,413円の利益が生じましたが、不足金のてん補に備えるため、平成23年10月議会で決算認定後、積立処理をしました。

園芸施設共済にご加入をお勧めします

四日市市楠地区

坂倉 常夫さん

私は楠地区の園芸ハウスで野菜を栽培しています。去る9月3日、四国に上陸した台風12号の強風の影響でハウスのビニールやドアに被害がやりました。

幸い、園芸施設共済にご加入していたため、補償を受けることができました。

最近では、東海・東南海地震の発生が心配されるなか、想定を超えた災害や豪雨による局地的な災害が多く発生しています。また、冬期は大雪や強風の被害も予想されます。

ハウス経営をされている方で、まだ加入されていない方は、万一の備えにぜひ加入をお勧めします。



坂倉さんの園芸ハウス

風水害などの災害に備えて、園芸施設共済にご加入を

掛金の半分は国が負担します。



農業共済をPR

農業共済制度を農業者のみならず、広く住民の方々にも知っていただくため、11月3日(祝)菟野中学校で開催された第42回菟野町産業文化祭に参加し、啓発活動を行いました。

農業共済制度のチラシを配布し、中学生以下のお子さんには、お米の重さ当てクイズを実施し、正解者には、NOSAI君グッズをプレゼントいたしました。

当日は過ごしやすい一日で、大勢の方の来場がありました。



農業共済制度を広くPR



お米の重さ当てクイズに参加する子どもたち

表紙紹介

御在所ロープウェイは、全長約2.1km、標高差約780m、湯の山温泉駅と約12分で、御在所山頂を結びます。ロープウェイからは、湯の山温泉側や四日市市街、伊勢湾を眺め、山頂からは、晴れた日には、遠く富士山までも一望出来ます。

春には、アカヤシオやサラサドウダンツツシなどの花が咲き、夏には、涼しい山頂を目指し、赤とんぼが飛んで来ます。秋には、山上から中腹、山麓へと段階的に紅葉が見られ、冬には、真っ白な雪に覆われ、スキーも楽しめます。また樹氷や氷瀑も現れます。

撮影当日は、平日にも関わらず多くの観光客が訪れ、御在所の自然の豊かさを心ゆくまで満喫していました。



NOSAIの建物短期共済

住まいる
共済

NOSAIは、農業災害補償法という国の定める法律で運営しています。
その一環として建物短期共済事業を実施しています。あなたの家をがっちりお守り致します。
一度、ご相談ください。必ず、安心の提案をさせていただきます。

新価(再取得)
で補償します。

火災共済

火災 消防冠水 車両のあて逃げ
盗難によるき損・汚損 落雷

費用共済金も付いてワイドな補償

住宅物件の場合 1,000万円の 補償で(年間わずか)	木造	6,800円
	鉄骨耐火造	4,400円
	コンクリート造	2,400円

平成23年度は、県下で266件の事故に対して1億9千4百万円を超えるお支払いをいたしました。
被災者の方々には、喜んでお見舞い申し上げます。



新価(再取得)
で補償します。

総合共済

地震 津波 台風 集中豪雨 土砂崩れ
雪害 火災 消防冠水 車両のあて逃げ
盗難によるき損・汚損 落雷

火災・落雷 はもちろん、自然災害もお任せ。

自然災害の場合は免責額、1万円を控除しますので、
損害額が、1万円を超えればお支払いします。(地震・津波を除く)

建物の等級別 (住宅物件の場合)

等級別	加入額	1,000万円	1,500万円	2,000万円
木造	造	21,000円	31,500円	42,000円
鉄骨耐火造		18,100円	26,650円	36,200円
コンクリート造		17,500円	26,250円	35,000円

掛金は一例です。用途(普通物件、特殊物件等)や構造により、掛金が変わります。
また、加入資格要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ先：三迺鈴電建物共済推進協議会 TEL059-329-8780